

令和 5 年度事業報告書

公益財団法人徳川黎明会

I. 管理部門

数年度にわたる新型コロナウイルス感染拡大により、財団事業全体が大きな影響を受けてきたが、令和5年度にはようやく一般の経済・社会活動も平常化に向かうところとなり、年度末までには財団として概ねコロナ禍以前の事業の水準を回復することができた。この間、コロナ禍の下で培った経験やノウハウにより、オンラインでの会議開催等、一定程度業務の効率化・円滑化を進めることができたことは、コロナ禍が一つの転機となったプラスの要素でもあった。

1. 業務執行体制

本年度も、引き続き各種業務の見直し・改善に務め、業務全般を統括しつつ円滑な事業運営に努めた。なお、年度末に総務部長が退職することとなったため、翌年度期首より、美術館副館長を名古屋より本部へ移動せしめ、総務部長を兼任させることとした。

2. 寄附公募活動

本年度も、引き続き、美術館、研究所と連携し、寄附を広く募った。

3. 監事監査

令和5年度の業務・会計等監査について、下記のとおり執り行われた。

日時： 令和6年6月3日／13時00分から14時05分まで

場所： 当財団／本部会議室

対象： 業務、会計、理事の職務執行

4. 理事会・評議員会

(1) 理事会

・ 第1回（定時／対面）

日時： 令和5年6月9日／13時00分から14時17分まで

場所： 当財団／本部会議室

議案： 第1号議案／令和4年度事業報告について

第2号議案／令和4年度収支決算について

第3号議案／令和5年度定時評議員会開催について

結果： 全議案について、出席理事一同異議なく議決された。

・ 第2回（臨時／書面）

日時： 令和5年11月21日

議案： 第1号議案／決議の省略について

第2号議案／文化財（美術作品）の受贈および基本財産（受贈美術品）への組み入れについて

第3号議案／評議員会への提議について

第4号議案／決議日について

結果： 全議案について、出席理事一同異議なく議決された。

・ 第3回（臨時／書面）

日時： 令和6年1月22日

議案： 第1号議案／決議の省略について

第2号議案／会員規則の改定および関係細則の制定・改廃について

第3号議案／決議日について

結果： 全議案について、出席理事一同異議なく議決された。

・ 第4回（定時／対面）

日時： 令和6年3月25日/13時00分から14時20分まで
場所： 当財団/本部会議室
議案： 第1号議案/令和6年度事業計画について
第2号議案/令和6年度収支予算について
第3号議案/令和6年度資金調達及び設備投資の見込みについて
第4号議案/八雲産業株式会社との施設賃貸借契約について
第5号議案/退職に伴う重要な使用人の解任について
第6号議案/総務部長の選任について
結果： 全議案について、出席理事一同異議なく議決された。

(2) 評議員会

・ 第1回 (定時/対面)

日時： 令和5年6月26日/13時00分から14時12分まで
場所： 当財団/本部会議室
議案： 第1号議案/令和4年度収支決算について
第2号議案/任期満了に伴う評議員の改選について
結果： 全議案について、出席評議員一同異議なく議決された。

・ 第2回 (臨時/書面)

日時： 令和5年12月4日
議案： 第1号議案/決議の省略について
第2号議案/文化財(美術作品)の受贈および基本財産(受贈美術品)への組み入れについて
第3号議案/決議日について
結果： 全議案について、出席評議員一同異議なく議決された。

・ 第3回 (臨時/書面)

日時： 令和6年1月29日
議案： 第1号議案/決議の省略について
第2号議案/会員規則の改定および関係細則の制定・改廃について
第3号議案/決議日について
結果： 全議案について、出席評議員一同異議なく議決された。

5. 官庁申請・届出・報告

・ 内閣府関係

下記について、電子申請システム(公益 Information システム) 経由にて提出・報告した。

令和5年6月 令和4年度事業報告および収支決算

令和6年3月 令和6年度事業計画および収支予算

・ 労務関係

下記について、池袋労働基準監督署および名古屋北労働基準監督署に届出た。

令和6年3月 36 協定書

6. 役職員等の状況(令和6年3月31日現在)

(1) 役員等

評議員7名、役員7名、相談役1名、合計15名

① 評議員

職位	氏名	現職
評議員会長	田中 秀隆	(公財)三徳庵理事長

評議員	小林 央	富国生命保険(相)総合営業推進部部长
評議員	千葉 功	(学)学習院学習院大学副学長・文学部史学科教授
評議員	濱本 英輔	(株)ハーフ・センチュリー・モア顧問
評議員	原 俊夫	(公財)アルカンシエール美術財団理事長
評議員	松尾 美恵子	(学)学習院学習院女子大学名誉教授
評議員	室瀬 和美	(株)目白漆芸文化財研究所顧問

② 理事

職位	氏名	現職
代表理事 (会長)	徳川 義崇	徳川美術館館長・八雲産業(株)代表取締役
常務理事	深井 雅海	徳川林政史研究所所長
理事	小林 忠	岡田美術館館長・(学)学習院学習院大学名誉教授
理事	徳川 斉正	(公財)徳川ミュージアム理事長
理事	前田 利祐	(公財)前田育徳会評議員

③ 監事

職位	氏名	現職
監事	降旗 京二	降旗公認会計士事務所所長
監事	松平 頼昌	(学)本郷学園理事長

④ 相談役

職位	氏名	現職
相談役	竹内 順一	東京藝術大学名誉教授

(2) 職員等

区分	常勤	非常勤	計
職員	21	1	22
雇員	7	0	7
嘱託	1	5	6
臨時	0	19	19
派遣	0	0	0
合計	29	25	54

(3) 協力者等

区分	常勤	非常勤	計
参与	0	14	14
特任研究員	0	13	13
非常勤研究員	0	9	9
非常勤研究生	0	9	9
非常勤学芸員	0	2	2
合計	0	47	47

※ 統計上、雇用関係を優先し、兼務発令・委嘱等を受ける者については、主たる職位に計上している。

II. 公益目的事業

[公益事業1] 美術館の運営事業（徳川美術館）

新型コロナウイルスの5類移行に伴い、経済・社会活動の平常化が進む中、徳川美術館における令和5年度の年間来館者数は20万5千人強となり、コロナ禍以前の年間来館者数の水準を概ね回復したと言えるまでの状況となった。この間、NHK大河ドラマ「どうする家康」の放送や、コロナ禍からの回復を目指した観光業界等の注力もあり、美術館でも家康関連の特別展の開催や年間を通じた特集展示を行ったことは、こうした回復をもたらすことに寄与したといえよう。また家康関連の展示以外でも、MOA美術館・三井記念美術館との巡回展として実施した4～5月の「大蒔絵展」は古今の蒔絵の名作を集めた見応えのある展覧会として話題を呼び、年末の「徳川林政史研究所開設100周年記念展」も予測を上回る入館者数となり、さらには年明けの「うるわしの古筆」展についても新規に寄贈を受けた古筆名品の初公開の機会となるなど、コロナ禍の下での制約が解かれた中でタイムリーな展覧会・展示企画を行ったことも、入館者増をもたらした要因になったものと考えられる。展示以外の活動としては、4年目を迎えた文化観光拠点計画事業において、文化芸術振興費補助金を活用しつつ、展示ケースの更新やWi-Fi設備の全館整備、また次年度施工予定の第6室（国宝 源氏物語絵巻レプリカ展示・解説）のリニューアル設計など、来館者にとっての魅力ある鑑賞環境づくりのための諸施策を実施した。さらに美術館としてのブランド価値向上や広報戦略、イベントの高付加価値化等について、引き続き文化庁からの支援のもとでコーチング指導を受け、「国宝 源氏物語絵巻」特別公開に合わせた「徳川ナイトミュージアム PREMIUM」を実施するなど新たな試みも導入した。収蔵品の保全・修復としては、「国宝 初音蒔絵調度」について引き続き国庫補助を得つつ継続実施中である。

1. 美術品の展示・公開・保存・修理・収集

(1) 展示・公開

事業計画に基づき、以下の展示・公開を行った。これにより下掲①～③に記載した展示による令和5年度の来館者数合計は205,088名となった。

① 名品コレクション展示室（新館第1～第5展示室）

「名品コレクション展」として年間に4回の大展示替えを行ったほか、約1か月毎に部分展示替えを実施した。特別展・企画展開催期間を除く新館展示室のみの開館日の来館者数は12,218名であった。

期間 1 (a. 3月28日～4月25日 b. 4月26日～5月23日 c. 5月24日～6月18日)

期間 2 (a. 6月20日～7月17日 b. 7月19日～8月20日 c. 8月22日～9月24日)

期間 3 (a. 9月26日～10月15日 b. 10月17日～11月17日 c. 11月18日～12月15日)

期間 4 (a. 1月4日～1月30日 b. 1月31日～2月27日 c. 2月28日～3月24日)

第1展示室では特集展示「徳川家康」(1月4日～12月15日)、第5展示室では「国宝 初音の調度」と題し、年度を通じて順次数点ずつ展示公開を実施。また第2・第5展示室で、下掲④の通り「千利休 泪の茶杓」及び「国宝 源氏物語絵巻 竹河(一)・東屋(二)」の特別公開を行った。なお、第6展示室では年度を通じ「国宝 源氏物語絵巻(複製)」及び同絵巻の解説(動画映像を含む)を展示した。

② 特別展（本館第7～第9展示室）

事業計画に基づき以下の特別展を開催した。特別展への来館者数合計は182,353人となった。

a. 4月15日～5月28日 特別展「大蒔絵展—漆と金の千年物語」
MOA美術館、三井記念美術館、朝日新聞社共催
来館者数計28,532名

b. 6月3日～7月17日 特別展「よそおいの美学」
来館者数計24,336名

c. 7月23日～9月18日 夏季特別展「徳川家康—天下人への歩み—」(共催展)
名古屋市蓬左文庫との共催展、読売新聞社共催
来館者数計38,712名

- d. 9月24日～11月5日 秋季特別展「人間讃歌－江戸の風俗画－」（共催展）
名古屋市蓬左文庫との共催展、中日新聞社、日本経済新聞社共催
来館者数計 29,102名
- e. 11月11日～12月15日 徳川林政史研究所開設100周年記念
特別展「将軍と尾張徳川家－政と儀礼－」
徳川林政史研究所、中日新聞社、日本経済新聞社共催
来館者数計 23,766名
- f. 2月3日～4月3日 特別展「尾張徳川家の雛まつり」
中日新聞社共催
来館者数計 37,905名（3月31日まで）、39,289名（4月3日まで）

③ 企画展（名古屋市蓬左文庫展示室）

名古屋市との協力の下、事業計画に基づき以下の企画展を開催した。下掲 a・b・c・d・e・g の各展覧会は上掲 (1)②a・b・c・d・e・f と同時開催のため、来館者数は同一である。

- a. 4月15日～5月28日 企画展「能の世界－神・男・女・狂・鬼－」
上記 1. (1)②a と同時開催
- b. 6月3日～7月17日 企画展「極める！江戸の鑑定」
上記 1. (1)②b と同時開催
- c. 7月23日～9月18日 夏季特別展「徳川家康－天下人への歩み－」
上記 1. (1)②c と同企画
- d. 9月24日～11月5日 秋季特別展「人間讃歌－江戸の風俗画－」
上記 1. (1)②d と同企画
- e. 11月11日～12月15日 徳川林政史研究所開設100周年記念
企画展「尾張藩と木曾山－徳川義親のまなざし－」
上記 1. (1)②e と同企画
- f. 1月4日～1月28日 企画展「うるわしの古筆」
毎日新聞社共催
来館者数計 9,133名
- g. 2月3日～4月3日 企画展「ひなを楽しむ－旧家のひな飾り－」
上記 1. (1)②f と同時開催

④ 特別公開

「国宝 源氏物語絵巻 竹河(一)・東屋(二)」11月18日～11月26日（第5展示室）
「千利休 泪の茶杓」2月23日～3月3日（第2展示室）

⑤ 特別観覧

a. 研究者等特別観覧

大学等学術・研究機関、外部美術館等からの要請に応じ、特別観覧を実施した（全31件）。

b. 徳川茶会（茶室餘芳軒および山の茶屋）

新型コロナウイルス感染症拡大防止策を施し、1日あたりの参加者数は昨年並みとしつつ、開催日数を8日間（10月8, 9, 14, 15, 22, 28, 29日・11月3日）に増やし、合計1,570名が参加した。

c. VIP対応

日中韓環境大臣会合に際し、餘芳軒での立礼茶会を開催（11月4日）。また、2月7日にはケニア大統領夫人による観覧を実施した。

d. 休館日貸切開館

11月12日、400名の休館日貸切対応を実施した。

⑥ 他館主催展覧会への収蔵品出陳

出光美術館「茶の湯の床飾り—茶席をかざる書画」（4月22日～5月28日）、京都府京都文化博物館・サントリー美術館「大名茶人 織田有楽斎」（4月22日～6月25日、令和6年1月31日～3月24日）、東京国立博物館「やまと絵—受け継がれる王朝の美—」（10月11日～12月3日）など他館主催の展覧会に対し延べ16館、54件の収蔵品（うち寄託品2件）を出陳。

⑦ 他館との共同展示企画

特別展「大蒔絵展—漆と金の千年物語」（MOA美術館・三井記念美術館・朝日新聞社）を巡回展として実施。

(2) 修理・保存・収集

① 保存・収集

受贈

以下の普通美術品計5件を受贈した。

- ・墨梅図 永坂石埭筆・同賛 一幅
- ・邸内遊楽図 二枚
- ・唐銅蓋置（靈芝形・穂屋香炉形） 二個
- ・内裏雛飾り 一式
- ・徳川美術館図面(立面図) 八枚

以下の受贈美術品計20件を受贈した。

- ・過去現在絵因果経（勝利寺本） 一幅
- ・紫紙金字法華経 一幅
- ・隅寺心経 伝空海筆 一幅
- ・紺紙金銀交書烏樞瑟摩明王経（中尊寺経・清衡経） 重要美術品 一卷
- ・紺紙金字十誦律（神護寺経） 一卷
- ・紺紙銀字華嚴経（二月堂焼経） 一面
- ・一山一寧墨蹟 唐李涉詩 一幅
- ・広沢切 伏見院御集「寄舟述懐」伏見天皇筆 重要美術品 一幅
- ・後奈良天皇詠草「よるへあり」重要美術品 一幅
- ・通切 古今和歌集「飽さりし」藤原定実筆 一幅
- ・伊予切 和漢朗詠集「仙家」伝藤原行成筆 一幅
- ・石山切 貫之集下「ことしけき」藤原定信筆 重要美術品 一幅
- ・唐紙拾遺和歌集切「東路の」伝源俊頼筆 一幅
- ・柏木切 応和二年五月四日庚申内裏歌合「みつのおもに」伝藤原俊忠筆 一幅
- ・伊丹切 寛平御時后宮歌合「ほとゝきす」伝藤原俊忠筆 一幅
- ・戊辰切 和漢朗詠集「菊」藤原伊行筆 一幅
- ・戊辰切 和漢朗詠集「帰雁」藤原伊行筆 一幅
- ・戊辰切 和漢朗詠集「初冬」藤原伊行筆 一幅
- ・昭和切 古今和歌集「としのうちに」藤原俊成筆 一幅
- ・藤原定家和歌色紙「大井川行幸」 一幅

② 修理

国宝重要文化財等保存・活用事業費（国庫補助美術工芸品保存修理事業）および文化財保存事業費（愛知県文化財保存事業）、並びに公益財団法人住友財団文化財維持・修復事業による助成を受け以下の修理を実施した。また、これら修理に伴う自己負担分費用について、活動支援基金を充当した。

基本美術品（計1件）

- ・国宝 婚礼調度類〔徳川光友夫人千代姫所用〕（「初音の調度」）
初音蒔絵 文台・硯箱 一基・一合

(3) 収蔵品撮影（館内）

各展覧会のための広報用および図録作成に必要な撮影を行った（合計 175 カット）。

2. 調査・研究

(1) 美術館における調査・研究

事業計画に基づき、学芸部において、以下の研究を行った（括弧内は、開始年度）。

①館蔵品悉皆調査（昭和 63 年度）、②尾張徳川家御道具帳のデータベース化（平成 27 年度）、③尾張徳川家関係寺社蔵品調査（昭和 58 年度）、④尾張徳川家に関連する政秀寺所蔵什宝の調査（平成 20 年度）、⑤幕末明治浮世絵の研究（令和 2 年度）、⑥尾張藩御用絵師の研究（令和 2 年度）、⑦大名家における絵師の絵画活動についての研究（平成 6 年度）、⑧尾張における画家の活動について一田中訥言を中心に（平成 11 年度）、⑨武家女性の生活史の研究（平成 29 年度）、⑩尾張徳川家旧蔵の古典籍および文書について（平成 8 年度）、⑪近世狩野派の研究（平成 24 年度）、⑫戦国合戦図の総合的研究（平成 28 年度）※、⑬戦国軍記・合戦図の史料学的研究（令和 2 年度）※、⑭近世初期絵画の研究（平成 24 年度）、⑮茶道史の研究（令和 2 年度）、⑯尾張徳川家関係の仏教絵画の研究（令和 2 年度）、⑰高雄曼茶羅の復元と空海の造形観の研究（令和 2 年度）※、⑱刀剣に関する研究（平成 24 年度）※、⑲尾張徳川家に関する古典籍および古文書の研究、⑳刀装具に関する研究（令和 4 年度）、㉑岩佐派の研究（令和 4 年度）、㉒日本における唐絵の受容研究（令和 5 年度）※

※⑫は東京大学史料編纂所特定共同研究、⑬は共立女子大学共同研究（文部科学省科学研究費助成）、⑰は奈良国立博物館共同研究（文部科学省科学研究費助成）。⑱・㉒はメトロポリタン東洋美術研究センターの助成の下で実施した。

(2) 徳川林政史研究所との連携による研究（前年度より継続）

以下の各項の研究を引き続き行った。

- ① 尾張徳川家歴代藩主に関する史料調査・研究
- ② 尾張徳川家関連史料に関する基礎調査・研究
- ③ その他、展示・教育普及事業への協力および研究交流の促進

(3) 収蔵品データベースの整備（前年度より継続）

以下の各項を継続実施した。

- ・調書作成・入力
- ・写真データ作成・入力
- ・展示作品リスト・キャプション用データ整備・入力
- ・リスト・キャプションの作成
- ・作品の写真撮影
- ・作品情報のデータベース化等

(4) 研究用図書類の整備

① 図書（購入計 32 冊、受贈計 201 冊）

図書は、展覧会や収蔵品研究のための参考図書の他、『大東急記念文庫善本叢刊』（汲古書院）、『史料纂集 古記録編』（八木書店）、『大日本史料』（東京大学出版会）などの継続購入により、計 32 冊を購入した。また、『江戸城御殿の構造と儀礼の研究』（吉川弘文館）、『装いの美術史 織りと染めが彩なす服飾美』（思文閣出版）など 236 冊の寄贈を受けた。

② 雑誌（購入計 97 冊、受贈多数）

雑誌は、『國華』（國華社）、『史学雑誌』（史学会）、『仏教芸術』（中央公論美術出版）などの定期刊行物を含む計 97 冊を購入した。また、『茶道の研究』（大日本茶道学会／三徳庵）、『美術研究』（東京文化財研究所）、『MUSEUM』（東京国立博物館）、『茶の湯文化学』（茶の湯文化学会）など、多数の寄贈を受けた。

(5) 研究成果の公開・公刊

以下の通り、研究成果を公開・公刊した。

① 定期研究発表会

8月5日(第82回)「徳川美術館蔵の刀装具に附属する古文書類の検討」 板谷寿美

9月9日(第83回)『物吉貞宗』の継承と権威化」 安藤香織

② 図録、研究紀要等

a. 図録の作成・頒布

・秋季特別展「人間讃歌—江戸の風俗画—」

・徳川林政史研究所開設100周年記念特別展「将軍と尾張徳川家—政と儀礼—」「尾張藩と木曾山—徳川儀親のまなざし—」(徳川林政史研究所と共同)

・「うるわしの古筆」展図録「古筆の美」

b. 英文リーフレットの作成

展覧会を紹介する英文リーフレットを作成・配布

c. 金鯨叢書第51輯(「研究紀要」第58号)の編集・刊行

③ 美術館だよりの編集・発行(年度内4回)

4、7、9、1月に『葵』第126～129号を編集・発行した。

(6) 大名道具収蔵館研究会(平成4年度より継続)

1月18日に徳島城博物館で、オンラインと対面方式の併用で開催。

3. 教育・普及

以下の諸事業を実施した。

(1) 特別展記念講演会・記念講座

① 「大蒔絵展」関連

4月15日 記念講演会「蒔絵の魅力—初音の調度を中心として」

室瀬和美氏(重要無形文化財「蒔絵」保持者)

② 「徳川家康」展関連

7月30日 記念講演会「家康と天下」 藤井讓治氏(京都大学名誉教授)

8月19日 記念講演会「服飾から見る徳川家康」 福島雅子氏(学習院女子大学准教授)

③ 「人間讃歌」関連

9月24日 記念講演会「〈対談〉人間模様の好奇心」

出光佐千子氏(青山学院大学文学部准教授)・松本郁代氏(横浜市立大学国際教養学部教授)

④ 「将軍と尾張徳川家」展関連

11月12日 記念講演会「将軍家・尾張家における政と儀礼」 深井雅海

⑤ 「うるわしの古筆」展関連

1月14日 特別講座「尾張徳川家伝来の古筆」 四辻秀紀(徳川美術館特任学芸顧問)

(2) 土曜講座「大名の生活と文化」(各講座の講師は、徳川美術館副館長および学芸員ほか)

4月22日「源氏物語絵巻と初音の調度—二つの国宝に見る日本の伝統美—」 吉川美穂

5月13日「尾張徳川家における演能」 並木昌史

6月10日「武家のよそおい—ルールと美学—」 安藤香織

6月17日「鑑定の諸相」 加藤祥平

8月26日「家康の遺産」 薄田大輔

10月7日「風俗画を読み解く」 吉川美穂

11月25日「木曾林政史研究事始め—徳川義親のまなざし—」 藤田英昭

1月20日「古筆鑑賞入門」 薄田大輔

2月17日「史料からひもとく尾張徳川家その3 尾張徳川家の刀装具管理を考える」 板谷寿美

- 3月9日「岩佐又兵衛と大名家」長谷川円
- (3) 徳川林政史研究所による古文書入門講座「江戸時代の古文書を読む 徳川家康関係文書を読む」
- 6月24日「家康、太閤臣従一件」深井雅海(所長)
- 7月1日「大御所家康と尾張」白根孝胤(特任研究員)
- 7月8日「徳川家康と木曾衆 一山村甚兵衛と千村平右衛門を中心に」萱場真仁(研究員)
- 7月15日「徳川家康文書の様式について」川島孝一(特任研究員)
- 7月29日「徳川家康とお亀の方」藤田英昭(研究員)
- (4) 徳川林政史研究所による江戸学講座「徳川林政史研究所100周年記念」
- 12月2日「研究所の史料調査と林政・林業史研究―所蔵史料の紹介も兼ねて―」萱場真仁(研究員)
- 12月9日「徳川林政史研究所所蔵絵図の諸相」渋谷葉子(特任研究員)
- 1月13日「殿様写真師」徳川慶勝とその写真―研究所に残された古写真から知られる人となり―
岩下哲典(特任研究員)
- (5) 担当学芸員の見どころガイド
- 感染予防の観点から、従来の「ギャラリートーク」に代え、感染症対策を実施した上で講堂での短時間の「見どころガイド」として実施。特別展「大蒔絵展」、企画展「能の世界」、特別展「よそおいの美学」、企画展「極める！江戸の鑑定」、企画展「うるわしの古筆」において各担当学芸員が合計5回実施。
- (6) 特別展・企画展関連企画
- ①「大蒔絵展」関連
- 4月23日 本格体験講座「漆芸家に学ぶ！世界に1つだけの蒔絵オリジナルスプーンをつくろう！」
安藤源一郎氏(漆芸家)・鶴飼敏伸氏(漆芸家)
- ②「能の世界」展関連
- 4月30日 能楽特別講座「能へのいざない」片山九郎右衛門氏(観世流能楽師)
- ③「よそおいの美学」展関連
- 7月9日「香りをよそおうーオリジナル香り袋・文香づくりー」小川薫氏(春香堂 社長)
- ④「徳川家康」展関連
- 8月20日・27日「きゃらあふら合」小川栄一郎氏(春香堂 専務取締役)
- ⑤「尾張徳川家の雛まつり」関連
- 2月24日・3月2日「香りを楽しむ聞香ー小草香ー」
- ⑥新春企画
- 1月7日 徳川美術館でミニ書き初め
- (7) 土曜子ども教室の開催(小中学生向け教育・普及、※小中高生の観覧料は無料)
- 令和5年4月1日～令和6年3月30日(46日間・8月を除く)の間、毎週土曜日、1日3回、各約60分、小学校・中学校の児童及び生徒を対象に実施した。ボランティアがサポートしながら、展示室での解説はせず、参加者にワークシートを配布、感染予防策を講じながら体験型のワークショップを実施。
- 参加者のべ1,321名(子ども748名、大人573名)
- (8) 夏休み子ども特別企画
- 「徳川家康まるわかりガイド」10,000部を作成し、館内で無料配布。徳川家康クイズを実施。(小中生参加者数2,405名)
- (9)「家康シールラリー」(1月4日～12月15日)
- 延べ参加者数4,824名、7回以上参加者数343名、全回参加者数151名。
- (10) 中高生・大学生の職場体験の受け入れ(インターンシップ)
- ・8/9・10(2日間)名古屋商業高校より3名
 - ・1/25・26(2日間)同朋高校より2名
- (11) 体験プログラム・体験講座
- ・貝合わせ体験(デコパージュによる合わせ貝作成)計44回、342名参加

- ・ 聞香体験 団体での実施計 17 回、2101 名参加
- ・ 「漆芸家に学ぶ！世界に 1 つだけの蒔絵オリジナルスプーンを作ろう！」(4 月 23 日実施)
- ・ きゃらあふら合 (8 月 20 日, 8 月 27 日実施)
- ・ 館外での練り香体験教室開催
(福島県二本松での菊人形展示<徳川家康>にて、11 月 4 日 (土)・5 日 (日) 実施)

(12) ナイトミュージアムの実施

- ① 5 月 4 日・5 日、子どもナイトミュージアム (50 名参加)
- ② 8 月 12 日、徳川ナイトミュージアム PREMIUM - 家康の宴 - (ゲスト：今出川行戒氏、39 名参加)
- ③ 11 月 18 日、徳川ナイトミュージアム PREMIUM 源氏夜会 2023 (75 名参加)

(13) 小学校・中学校・高校・大学の生徒・学生向け鑑賞・体験プログラム

美術館紹介と作品解説を小学校 1 校(94 名)、中学校 4 校(計 139 名)、大学 4 校(計 155 名)、専門学校 1 校(13 名)に、また体験学習 (模造刀・火縄銃・貝あわせなどの体験後、館内見学) を中学生 2 校 (計 159 名)、高校 1 校(11 名)、大学 1 校 (10 名) に対して実施。ほかにオンライン授業を高校 1 校 (160 名) に対して実施。

(14) 古美術相談会

随時、作品持込・写真郵送・メール等による相談が計 20 件あった。

(15) ボランティア研修

- ・ 名品コレクション展の展示解説研修：計 4 回
- ・ 企画展特別展の展示解説研修：計 7 回
- ・ 土曜子ども教室研修：計 5 回
- ・ 夏休み子ども企画研修：計 2 回
- ・ 建中寺見学会：計 2 回

(16) 館長講演活動

計 2 回：丸八会での文化講演(7 月)および日本病理学会総会での講演(3 月)

(17) 出講・受嘱

- ① 出講：学芸員 5 名が、合計 7 の大学、合計 2 の文化センターほかの講座等に出講。
- ② 受嘱：学芸員 2 名が愛知県内の市・研究機関等、合計 6 件の専門委員、研究員、研修員等の委嘱を受け業務を遂行。

4. 協賛事業・事業協力・補助金事業

(1) 協賛事業・事業協力

- ① 「第 102 回名古屋市文化史教室 夏休み子ども企画」を名古屋市と共催した。
- ② 愛知県内の博物館・資料館などをめぐる「ひなまつりスタンプラリー」に参加 (2 月 3 日～3 月 10 日)。
- ③ 文化のみち雛巡り「シールラリー」に参加 (2 月 3 日～3 月 3 日)。
- ④ BEAMS 連携事業として貝合わせ体験を実施 (ラシック 1 階にてワークショップ、7 月 29 日・30 日)。
- ⑤ 名古屋グランパス連携事業：グランパスくん兜贈呈式および豊田スタジアム広報活動実施(8 月～9 月)
- ⑥ 名古屋観光ホテルと共同で「とくびぐみグッズ付き宿泊プラン」を造成した。
- ⑦ (株) マルイと共同でアニメガールズフェスティバルに参加。
- ⑧ 大丸松坂屋との協力で、家康おせちの監修を実施。
- ⑨ JR 東海バスと共同で「三英傑堪能バス」の運行を企画・実施。

(2) 補助金事業

- ① 文化庁令和 5 年度文化芸術振興費補助金 (文化観光拠点施設を中核とした地域における文化観光推進事業)

令和 2 年度に認定を受けた「文化観光拠点施設」としての初年度計画に対応して、以下の項目の実施についての助成を得た。また文化庁より文化観光拠点としてのコーチングを、10 月より 2 月まで受けた。

- ・ 壁付き展示ケース照明

- ・移動式展示ケースの更新
- ・国宝 源氏物語絵巻（レプリカ）展示・解説スペースの更新に係る提案コンペの実施
- ・館内 Wi-Fi リニューアル工事
- ・新館展示室 3 室～5 室の間接照明 LED 化工事およびスポット照明器具の購入
- ・体験スペースの拡充およびビデオルームの更新企画
- ・ホームページのリニューアル・多言語化にかかわる作品等撮影
- ・体験型教室の備品購入（甲冑 2 領・太刀 1 振）
- ・展示台の更新
- ・ナイトミュージアム用照明機材購入、ライトアップ工事、茶室屋根・仮屋根・エアコン工事

② 新型コロナウイルス感染症対策・旅行商品造成支援事業

名古屋観光コンベンションビューローの助成を受け、高付加価値化夜間イベント「徳川ナイトミュージック PREMIUM」(8月12日、11月18日)を実施した。

5. 賛助会・友の会・大学メンバーシップ

(1) 賛助会会員向け優待

以下の各項の優待を引き続き行った。

1 年間の無料入館、各企画展・特別展の開始日前日に賛助会員内覧会の開催（図録がある場合は無料配布）、美術館だより『葵』および各種印刷物の配布、ショップ商品等の割引、他館との連携による各々の会員向け相互観覧料割引（五島美術館ほか 4 館）

本年度の会員数推移は以下のとおりであった。

種別	前期末	今期入会	今期退会	今期末	前期対比
個人	96	16	17	95	△1
家族	12	0	1	11	△1
法人	46	0	7	39	△7
合計	154	16	25	145	△9

(2) 友の会会員向け優待

以下の各項の優待を引き続き行った。

美術館だより『葵』および各種印刷物の配布、一般会員向け 1 年間の無料入館制度（ただし、名古屋市蓬左文庫との共催展の観覧は 1 回目のみ無料・2 回目以降は割引料金（団体料金）を適用）、一般会員向けのミュージアムショップでの割引、他館との連携による各々の会員向け相互観覧料割引（前掲(1)と同じ）

本年度の会員数推移は以下のとおりであった。

種別	前期末	今期入会	今期退会	今期末	前期対比
一般	479	171	91	559	80
情報	14	5	8	11	△3
合計	493	176	99	570	77

※一般会員のうち、27 名が半期入会（4,400 円）の会員

(3) 大学メンバーシップ会員向け優待

対象大学の学生と教職員の無料入館（一部学生のための例外校あり）及び、対象大学への展覧会ポスター・ちらし、イベント案内等の配布・掲示依頼を行った。

会員登録校は以下のとおりであり、現在 25 の学校法人等、関連施設を含めて 34 施設である。（本年度、名古屋造形大学と愛知大学が新たに加入）

愛知学院大学、愛知学院大学短期大学部、愛知学院大学歯科技工専門学校、愛知県立芸術大学、愛知県立大学、愛知工業大学、愛知淑徳大学、桜花学園大学、名古屋短期大学、金城学院大学※、椋山女学園大学※、中京大学、中部大学、東海学園大学、同朋大学、名古屋学院大学、名古屋学芸大学、名古屋外国語大学、菱

野幼稚園、名古屋ファッション専門学校、名古屋栄養専門学校、名古屋製菓専門学校、名古屋芸術大学、名古屋経済大学、名古屋工業大学、名古屋市立大学、名古屋造形大学※、名古屋大学、名古屋文化短期大学、名古屋ファッションビューティー専門学校、南山大学、名城大学※、愛知教育大学、愛知大学（※は、学生のみを対象とした会員）

6. 管理部門

(1) 新型コロナウイルス感染症対策

令和5年5月から5類感染症に移行後も、適切な空調管理、施設の消毒、接客スタッフのマスク着用など、基本的な感染予防対策を継続した。

(2) チケット販売（オンラインチケット販売の拡大）

通常前売り券に加え、夜間開館（徳川ナイトミュージアム）等美術館主催イベントも同様にオンラインチケットで販売し、参加希望者の利便性向上と事務（販売管理・顧客管理等）の効率化を図った。

(3) 広報

① 令和4年度のメディアによる取材は以下のとおりであった。

展覧会等	新聞	テレビ・ラジオ	雑誌・WEB等
大蒔絵展	12	2	17
能の世界			
よそおいの美学	12		4
極める！江戸の鑑定	1		
徳川家康	63	3	49
人間讃歌	14		46
「国宝 源氏物語絵巻」	1		
将軍と尾張徳川家	13		5
尾張藩と木曾山	3		
うるわしの古筆	10		3
尾張徳川家の雛まつり	15	2	13
ひなを楽しむ	2	1	
その他	12	8	38
合計	158	16	175

② 有料広告として以下の掲示・掲載を行った。

キラッ都ナゴヤ（毎月）、名古屋アートニュース（隔月）、大曽根駅南口看板（常設）、大曽根駅北口看板（常設）、電柱看板（常設）、名古屋コンシェルジュバナー広告、リスティング広告

③ ホームページ、Facebook、X (Twitter)、YouTube、インスタグラムの運用

(4) 営業

① 団体利用促進のため以下を行った。

- ・旅行会社への営業活動 計5回（ZOOM 商談会2回、KNT 商談会1回、東京営業セールス2回）
- ・MICE誘客の働きかけ
- ・名古屋観光コンベンションビューローとの連携
- ・大学メンバーシップのルートを使用した展覧会情報の提供（ポスターチラシ配布）

② 個人来館者利用促進のため以下を行った。

- ・JR 東海ツアーズ「ずらし旅」「EX 旅のコンテンツポータル」のコンテンツに継続参画、遠方在住や個人の旅行者の集客。（年間約3000名）
- ・前売券の販売促進：百貨店友の会3店舗（高島屋・名鉄・大丸松坂屋）での販売
- ・各種スタンプラリーの実施（外部団体と連携したものを含む）

「家康シールラリー」(前掲3(9))「ひなまつりスタンプラリー」(前掲4(1)③)等

③ 閉館後・休館日等における時間外の利用誘致

徳川ナイトミュージアム(前掲3(14))実施の他、団体向け夜間貸切を実施。

(5) ボランティアの会

① 会員数推移は以下のとおりであった。

	平成元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
会員数	293	280	221	229	229

② 活動内容

ボランティアによる展示室監視業務は通常通り活動を行った。解説業務はロビー解説を実施、受付業務は令和4年度をもって廃止とした。

解説業務：ロビー解説参加者 9892名、団体解説：110件 2536名

③ 準解説員ボランティアの採用

解説員の高齢化等により、令和5年度途中で活動を辞退または、休止する解説員が多数あったため、調整上の困難があった。そのため、ハードルが高い正解説員の募集に代え、準解説員としての新規採用を行った。結果14名を新規採用した。

(6) 徳川美術館運営懇話会

9月21日当館にて開催(第30回)。参加委員は、新座長：水野明久氏((一社)中部経済連合会会長)、河村たかし氏(名古屋市長)、嶋尾正氏(名古屋商工会議所会頭)、中村昭彦氏((株)三菱UFJ銀行常任顧問)、徳川義崇((公財)徳川黎明会代表理事・徳川美術館館長)の5名。なお、大村秀章氏(愛知県知事)、林欣吾氏(中部電力(株)代表取締役社長)、加留部淳氏(トヨタ自動車(株)アドバイザー)、安藤隆司氏(名古屋鉄道(株)会長)は欠席のため、後日会議資料を送付。

(7) 徳川園各施設連絡調整会議

徳川美術館、徳川園、名古屋市蓬左文庫、宝善亭、ガーデンレストラン徳川園で構成する徳川園各施設による月次定例会議を開催し、また各施設の本部からの参加を得て全体会議を1月31日に開催した。

(8) 地域との連携

前掲4.(1)に記載のとおり。

(9) 施設・設備の保守点検・営繕

新館展示室3室～5室の間接照明LED化工事、館内Wi-Fi機器の更新工事、監視カメラの新規設置および機器の入れ替え、屋上トップコート更新工事、美術館敷地東側の境界塀更新工事や、日本管財株式会社による館内設備の定期メンテナンスなどを実施した。

(10) 国庫補助金による事業

前掲1.(2)②、及び4.(2)に記載のとおり。

(11) 民間助成金による事業

前掲1.(2)②に記載のとおり。

(12) 活動支援基金による事業

① 寄附金受付業務

前年度に引き続き、徳川美術館の実施事業を対象にした募金活動を行った。結果として、今年度は4,082,759円(法人7件:1,230,000円、個人64件:2,604,000円、募金箱:248,759円の寄附金を受領した。

② 感謝状の贈呈

活動支援基金の高額寄附者(個人30口以上、法人10口以上)である法人2件、個人3名に対して、感謝状を贈呈した。

[公益目的事業 2] 研究所の調査・研究・教育・普及事業 (徳川林政史研究所)

研究所開設 100 周年を迎えた令和 5 年度は、徳川美術館との連携・協力の下、徳川美術館及び名古屋市蓬左文庫において、特別展『将軍と尾張徳川家一政と儀礼一』および企画展『尾張藩と木曾山一徳川義親のまなざし一』を開催した(会期: 11 月 11 日~12 月 15 日)。同展会期中の来場者数は 2 万 3,000 人を超え、盛況の内に記念展を終了することができた。また関連図書として、特別展図録『将軍と尾張徳川家一政と儀礼一』および企画展関連冊子『徳川義親と徳川林政史研究所』を刊行し、多くの反響を得た。こうした記念事業を実施しつつ、同時に例年通りの通常業務も実施した。通常業務については、新型コロナウイルスの 5 類移行に伴い経済社会活動が平常化に向かう中で、出張調査は概ね平常通り実施することができたが、多数の参加が想定された春季・夏季の研究集会は、対面とオンラインを併用したハイブリッド形式により開催することとし、非常勤研究員・研究生による集中史料整理も、所内での作業とはせずに、昨年と同様在宅での整理・採録作業により実施した。

尾張藩および林政史関係の成果としては、非常勤研究員・研究生の協力のもと、尾張徳川家から将軍家に献上する産物などを四季毎にまとめた『礼物軌式』(旧蓬左 148-59) を八木書店から刊行し、また引き続き『林政史ブックレット 尾張藩の林政と森林文化』を 2 冊刊行するとともに、尾張藩御山守の史料集『明和九年 御山方御用諸事日記』を翻刻・刊行し、成果を積み重ねた。若手研究者の育成においては、在宅作業業務を継続して若手研究者に古文書解読やデータ入力を依頼し、所員が解読指導に当たった。ここでの翻刻史料は、今後の史料集刊行や、研究・公開活動に活用していく予定である。

なお、当研究所の活動に対して、270,000 円の寄付が寄せられ、これを史料の購入に充当した。

1. 調査・研究

(1) 研究所における研究

- | | |
|---------------------------------|---------------|
| ・名古屋城の構造と儀礼に関する研究(平成 27 年より継続) | 深井 雅海(所長) |
| ・尾張藩幕末維新史の研究(平成 24 年より継続) | 藤田 英昭(マネージャー) |
| ・近世の地域社会と森林利用に関する研究(令和 4 年より継続) | 萱場 真仁(研究員) |
| ・近世山村の生活文化に関する研究(令和 4 年より継続) | 萱田 寛也(非常勤研究員) |
| ・近世木曾山林業地域における材木商の存在形態(令和 4 年) | 大崎 晃(特任研究員) |
| ・尾張藩領外の鷹場の研究—鷹場領主論の視点から—(新規) | 山崎 久登(特任研究員) |
| ・徳川斉朝正室淑姫の御守殿に関する研究(新規) | 吉成 香澄(非常勤研究員) |

(2) 徳川美術館との連携

① 古文書講座・江戸学講座へ講師派遣

② 徳川林政史研究所開設 100 周年記念展として、特別展『将軍と尾張徳川家一政と儀礼一』、企画展『尾張藩と木曾山一徳川義親のまなざし一』を開催した。関連図書として『将軍と尾張徳川家一政と儀礼一』『徳川義親と徳川林政史研究所』を編集・刊行し、徳川美術館ミュージアムショップで販売した。

(3) 研究成果の公開・公刊

① 研究会の開催

- | | |
|--|-------|
| ・8 月 4 日 徳川林政史研究所(対面・オンライン併用) | |
| 細川氏の権力編成をめぐる一考察—山城国西岡支配の検討を通して— | 谷橋 啓太 |
| 近世後期における幕府灯油政策の展開—元治期を中心に— | 石原 千尋 |
| 寛政期幕府奥医師の勤務体制について—西丸奥医師の職務記録「朝廷日記」から— | 高田 綾子 |
| 御守殿への将軍御立寄 | 吉成 香澄 |
| [講話] 木曾代官山村良由とその時代—「良由公日記」の紹介を兼ねて— | 萱場 真仁 |
| ・10 月 13 日 徳川林政史研究所(対面・オンライン併用) | |
| 尾張藩領外の鷹場と開発—遠州御鷹浜を事例として— | 山崎 久登 |
| ・11 月 1 日 徳川林政史研究所(対面・オンライン併用) | |
| 『林政史ブックレット 尾張藩の林政と森林文化 8 明治維新と加子母の森林』構想研究発表会 | |

太田 尚宏
芳賀 和樹

- ・12月13日 徳川林政史研究所（対面・オンライン併用）

『林政史ブックレット 尾張藩の林政と森林文化 9人・物・お金にみる山村の暮らし—江戸時代の“かしも生活”④』構想研究発表会

仲泉 剛
林 幸太郎

- ・3月1日 徳川林政史研究所（対面・オンライン併用）

学制期における教員養成と学事会議

明治初年における松代藩公用人

不二道による相互扶助の実践—文政期下利根川水害を事例に—

明治前期における尾張徳川家と相撲

明治30年代における国有林下戻し運動—秋田県七日市市長岐貞治の場合—

村上 博美
宮澤 歩美
出野 雄也
齊藤 みのり
栗原 健一

- ② 『金鯪叢書』第51輯（『研究紀要』第58号）の公刊

尾張徳川家の政治空間—「席図」の紹介・分析を中心に—

尾張藩領外の鷹場と開発—遠州御鷹浜を事例として—

「良由公日記」にみる木曾代官山村良由の治世・人物像

将軍御立寄にみる御守殿

近世後期における成瀬家と武家との交際—成瀬正寿を事例に—

〔研究ノート〕将軍補翼・徳川慶勝の日記とその活動—「公辺御用留記」の検討から—

深井 雅海
山崎 久登
萱場 真仁
吉成 香澄
萱田 寛也
藤田 英昭
原 史彦

〔史料紹介〕尾張領内御殿の記録

〔活動報告〕令和五年度の調査・研究・普及活動

〔所蔵史料目録〕徳川林政史研究所所蔵 石河家文書目録（十六）

『金鯪叢書』第50輯（『研究紀要』第57号）寄贈・送付業務

印刷部数 550冊（うち、寄贈・交換 498冊）

- ③ 所蔵史料の編集・刊行

『史料纂集 礼物軌式』（八木書店）の刊行

- ④ 史料調査の成果公開（ブックレット、史料集の刊行）

『林政史ブックレット 尾張藩の林政と森林文化 8 明治維新と加子母の森林』の編集・刊行

『林政史ブックレット 尾張藩の林政と森林文化 9

人・物・お金にみる山村の暮らし—江戸時代の“かしも生活”④—』の編集・刊行

『内木家文書 明和九年「御山方御用諸事日記」』の編集・刊行

- (4) 「尾張徳川史」編纂準備

- ① 「章善院殿ノ事蹟」（旧蓬左 128-62）筆耕（完了）

- ② 「（光友期）江戸」（旧蓬左 146-179）筆耕（完了）

- ③ 「（光友期）尾州」（旧蓬左 146-180）筆耕（完了）

- (5) 尾張徳川家関連資料の調査・研究

古写真の研究・保全に資するため、アルバム所収古写真のデジタルデータ化を実施

- (6) 史料調査

- ① 林政史アーカイブズ調査

ア. 岐阜県中津川市加子母地域史料調査

①6月9日～12日、②9月29日～10月2日、③3月15日～18日

イ. 金沢市立玉川図書館近世史料館所蔵史料調査 9月12日～14日

ウ. 木曾古文書館所蔵史料調査 2月21日～22日

エ. 裏木曾・木曾福島・塩尻方面出張調査 5月11日

② 研究資料（複写・写真撮影資料を含む）の調査・収集

ア. 犬山城白帝文庫所蔵史料調査 ①6月25日～27日、②11月17日～19日

イ. 八雲産業株式会社八雲事業所所蔵史料調査 9月1日～3日

ウ. 鎌倉在住鈴木家所蔵史料調査 1月26日・3月21日

③ 収集史料データの整理および公開

なし

④ 林政・林業関係史料データベースの構築・公開

全国の他機関所蔵林政・林業関係史料情報について、下記機関の所蔵史料データベースを作成・公開した。
また、各所蔵機関の協力を得ながら、出典として各所蔵機関の目録データのリンク付けもおこなった。

・岩手県 岩手県立図書館	約 80点
・岩手県立博物館	約 5点
・もりおか歴史文化館	約 30点
・石川県 金沢市立玉川図書館近世史料館	約 640点

(7) 調査・研究における他機関との連携・協力

① 名古屋市蓬左文庫

徳川林政史研究所所蔵史料の一部を紙焼き及びデジタルデータで提供し、名古屋市蓬左文庫での閲覧利用に協力した。

② 犬山城白帝文庫

犬山城白帝文庫と研究協力に関する覚書を取り交わし、調査・研究にあたった。所属の非常勤研究員が同文庫主催の古文書講座（古文書を読む2）に出講した。

③ 徳川記念財団

徳川宗家文書（受託史料）に関する下記の業務を実施した。

5月19日 史料移動（将軍宣下祝儀之節御意之振 他2件）

9月6日 宗家文書保管状況確認の立ち合い

④ 愛知県公文書館

愛知県史編さん委員会が、県史編さんのために収集した林政史研究所所蔵史料の紙焼き（データ点数11,356点）を公開し、愛知県公文書館での閲覧利用に協力した。

⑤ 名古屋城調査研究センター

名古屋城調査研究センターと史料集刊行の覚書を交わし、同センター編『国秘録 御巡覧留続帳』刊行に協力した。

2. 史料・図書 of 整理

(1) 所蔵史料 of 整理

① 信濃国諸地域文書の整理・目録作成

総数約90件のうち計83件の目録を作成した。

② 殿村文書の整理・目録作成

総数約420件のうち計359件の目録を作成した。

③ 山村・千村・竹腰文書の整理・目録作成

総数約260件のうち計80件の目録を作成した。

④ 徳川林政史研究所収集史料 of 整理・目録作成

総数約6,400件のうち計610件の目録を作成した。

⑤ 尾張藩朝岡家文書の整理・目録作成

総数84件の目録が完了した。

⑥ 愛知県史筆写史料 of 整理・目録作成

総数約106件のうち計51件の目録を作成した。

(2) 所蔵史料の目録刊行

- ① 石河家文書目録（十六）を『金鯨叢書』第 51 輯（『研究紀要』第 58 号）に収録刊行した。

(3) 所蔵史料データベースの構築および保存

① 所蔵史料データベースの構築

- ・尾張徳川家文書のデータベース化
「尾 6」313 点のデータを入力した（見積もり総数 10,410 点のうち計 9,342 点完了）
- ・三河国額田郡小呂村文書のデータベース化
総数 58 件のデータを入力し、作業が完了した。
- ・尾張藩朝岡家文書のデータベース化
総数 84 件のデータを入力し、作業が完了した。
- ・愛知県史筆写史料のデータベース化
総数 106 件のうち、51 件のデータを入力した。

② 目録データベースの検索・活用方法ならびに公開体制（ホームページでの検索システム構築）の検討

- ・旧名古屋税務監督局所蔵史料目録・尾張藩医野間林庵文書目録を HP 上に公開した。

(4) 史料のデジタルデータ化

① 所蔵古写真（アルバム所収分）のデジタルデータ化（93 点）

② 所蔵史料のデジタルデータ化

- ・外部委託
デジタル撮影「旧蓬左 138-4 源敬様御代御記録 巻二」ほか、62 点 337 カット
マイクロ撮影およびスキャニング「林 4589 大福帳」ほか、18 点 903 コマ
- ・自館でのデジタルデータ化（デジタルマイクロリーダープリンター導入による）
旧蓬左「年中頭書」、林「木曾山村家御状留」「永々録」ほか、14,259 コマ

③ 調査収集史料写真のデジタルデータ化

- 岐阜県中津川市加子母地域史料（デジタルデータ 7,480 コマ）
- 金沢市立玉川図書館近世史料館所蔵史料（デジタルデータ 9,239 コマ）
- 木曾古文書館所蔵史料（デジタルデータ 614 コマ）
- 犬山城白帝文庫所蔵史料（デジタルデータ 7,171 コマ）
- 犬山市歴史文化史料館所蔵史料（デジタルデータ 925 コマ）
- 八雲産業株式会社八雲事業所所蔵史料（デジタルデータ 409 コマ）

(5) 史料の購入・補修（活動支援基金）

① 購入

- 史料「江戸城見付其他故実図」1 巻
- 史料「岐蘇駅路図(二)從小田井至福島」1 巻
- 史料「尾張藩上田家文書」1 括

② 補修

- なし

(6) 書庫内の整理ほか保存環境の保全

重複図書の確認およびポジトリ掲載雑誌の確認作業をおこない配架を見直すなど、3 階書庫内整理の準備を進めた。また、書庫内照明器具の修理を順次行った。

(7) 研究用図書の整理

① 図書整理

昨年度に引き続き、図書・雑誌のコンピューター入力を進め、新着図書 479 冊に対し、ラベル貼付並びに入力作業を行った。

② 図書の購入・受贈

図書は『濃州殉行記』等 76 冊を購入。その他寄贈された図書 403 冊。

雑誌は『歴史学研究』等 146 冊を購入。その他寄贈された雑誌 265 冊。

3. 教育・普及

(1) 講座・講演

① 徳川美術館「古文書入門講座」

- | | | |
|-------|----------------------------|-------|
| 6月24日 | 家康、太閤臣従一件 | 深井 雅海 |
| 7月1日 | 大御所家康と尾張 | 白根 孝胤 |
| 7月8日 | 徳川家康と木曾衆—山村甚兵衛と千村平右衛門を中心に— | 萱場 真仁 |
| 7月15日 | 徳川家康文書の様式について | 川島 孝一 |
| 7月29日 | 徳川家康とお亀の方 | 藤田 英昭 |

② 徳川林政史研究所公開講座・豊島区教育委員会共催

- | | | |
|-------|---------------------------------|-----------------|
| 9月16日 | 森林を守り活かす御山守の知恵
加子母で育ちゆく子どもたち | 萱場 真仁
高木 まどか |
|-------|---------------------------------|-----------------|

③ 徳川林政史研究所開設 100 周年記念講演会

- | | | |
|--------|-----------------|-------|
| 11月12日 | 将軍家・尾張家における政と儀礼 | 深井 雅海 |
|--------|-----------------|-------|

④ 徳川美術館「土曜講座」

- | | | |
|--------|----------------------|-------|
| 11月25日 | 木曾林政史学事始め—徳川義親のまなざし— | 藤田 英昭 |
|--------|----------------------|-------|

⑤ 徳川美術館「江戸学講座」

- | | | |
|-------|--|-------|
| 12月2日 | 研究所の史料調査と林政・林業史研究—所蔵史料の紹介も兼ねて— | 萱場 真仁 |
| 12月9日 | 徳川林政史研究所所蔵絵図の諸相 | 渋谷 葉子 |
| 1月13日 | 「殿様写真師」徳川慶勝とその写真研究所に残された古写真から知られる人となり— | 岩下 哲典 |

⑥ 歴史講演会・加子母むらづくり協議会 NPO 法人かしもむら共催

- | | | |
|-------|------------------------------------|----------------|
| 3月16日 | 御山守の知恵と森林の持続・活用
馬とともに暮らす加子母の人びと | 萱場 真仁
萱田 寛也 |
|-------|------------------------------------|----------------|

⑦ その他の講演

・深井 雅海

- | | | |
|--------|---|------------------------------|
| 4月20日 | 江戸城の構造と機能
～全10回(5月18日、6月15日、7月20日、9月21日、10月19日、12月21日、
1月18日、2月15日、3月21日) | 調布市日本史を学ぶ会 |
| 5月27日 | 初期の将軍宣下
—家康と家光を比較して— | 学習院さくらアカデミー |
| 9月9日 | 柳沢吉保と元禄時代の政治
—江戸城「奥」と側用人の役割— | (公財)郡山城史跡・柳沢文庫保存会 |
| 9月24日 | 江戸城の構造とその仕組み | 台東区役所 |
| 11月16日 | 大岡越前守の人間関係 | 調布市日本史を学ぶ会公開講座 |
| 11月18日 | 将軍家・尾張家における政と儀礼 | 学習院さくらアカデミー |
| 3月10日 | 将軍御殿の世界—その構造と儀礼— | 滋賀県野洲市永原御殿跡関連普及啓発事業
歴史講演会 |

・藤田 英昭

- | | | |
|--------|-------------------------|-------------------|
| 6月10日 | 徳川秀忠—「律儀者」の実像— | 学習院さくらアカデミー |
| 7月16日 | 徳川家康あれこれ—肖像・御遺訓・イメージ形成— | 明海大学オープンカレッジ |
| 8月19日 | 安福寺に眠る殿様—徳川光友の足跡— | 柏原市立歴史資料館夏季企画展講演会 |
| 9月2日 | 将軍義親と木曾山 | 鷺ノ巣愛林農業協同組合研修講演会 |
| 10月28日 | 徳川時代の災害復興 (門井慶喜氏と対談) | 上廣歴史文化フォーラム |

- 12月10日 戦前・戦中期の徳川林政史研究所—徳川義親の活動と関連して—
学習院さくらアカデミー
- 1月20日 徳川家と「源氏物語」をめぐって 明海大学オープンカレッジ
- 3月23日 明治維新と戸山下屋敷—その人間模様— 新宿区立戸山図書館郷土史講座
- ・萱場 真仁
- 5月12日 林政史所蔵史料から見た山村蘇門とその時代 第1回木曾学講座
- 6月17日 徳川家光の大名統治—津軽家を中心に— 学習院さくらアカデミー
- 12月16日 史料調査と林政・林業史研究の現在 学習院さくらアカデミー
- ・萱田 寛也
- 10月30日 病院設立をめぐる動向からみる江戸幕府の医療認識—幕末期の箱館を事例に—
東北大学東北アジア研究センター上廣歴史資料学研究部門 歴史資料学研究会

(2) 外部機関などとの連携

- 6月15日 学習院大学学芸員資格取得課程「博物館実習」受講生・教員
- 12月4日 東京大学大学院農学生命科学研究科「森林政策学演習」受講生・教員
- 2月20日 清泉女子大学文学部文化史学科「日本文化史演習」受講生・教員
- 3月8日 中京大学文学部歴史文化学科卒業研究ゼミナール（近世史）所属学生・指導教員

(3) ホームページによる情報発信

ホームページを活用して、「内木家御用状留」などの所蔵史料画像約10点を公開した。

(4) 出講・受嘱

① 出講

大東文化大学	日本近世・近代史史料演習 A・B（前期・後期）	藤田 英昭
	日本史概説 A・B（前期・後期）	藤田 英昭
	日本通史 A・B（前期・後期）	藤田 英昭
学習院女子大学	学習院史 I（前期）	藤田 英昭
学習院大学	古文書学演習（前期・後期）	萱場 真仁
学習院女子大学	学習院史 II（後期）	萱場 真仁

② 受嘱

大田区立勝海舟記念館資料収集評価委員会委員	藤田 英昭
-----------------------	-------

4. 若手研究者の育成

(1) 非常勤研究員・研究生による研究会の開催

新型コロナウイルス感染拡大防止対策により夏季および春季の研究集会はオンラインで開催した。

(2) 非常勤研究員・研究生による史料整理・目録作成作業

新型コロナウイルスの感染拡大防止対策により夏季および春季の集中史料整理は在宅作業によるデータ入力の形態で実施した。

(3) 非常勤研究員・研究生の名古屋研修の実施

7月14日～15日 熱田白鳥の歴史館・徳川美術館・名古屋市蓬左文庫にて実施。

(4) 在宅作業業務

非常勤研究生に古文書史料の翻刻を依頼した。翻刻者は月に1回程度の出勤を促し、研究員が解説の指導に当たった（翻刻史料は「章善院殿ノ事蹟」「御意之振」「御山方御用并諸事日記」など）。

5. 閲覧・出陳・レファレンス業務

(1) 史料閲覧

閲覧許可数は40件、延べ閲覧者数は154名。

（※新型コロナウイルス感染状況を踏まえ、閲覧時間短縮および閲覧席数の調整をしながら対応。）

(2) 所蔵史料の出陳

- ① 「徳川林政史研究所 100 周年記念 特別展 将軍と尾張徳川家」(徳川美術館)

会期：令和 5 年 11 月 11 日～12 月 15 日

出陳史料名：徳川宗家文書・尾張徳川家文書など

- ② 「企画展 尾張藩と木曾山ー徳川義親のまなざしー」(名古屋市蓬左文庫)

会期：令和 5 年 11 月 11 日～12 月 15 日

出陳史料名：徳川林政史研究所収集史料・徳川義親関係史料など

(3) 所蔵史料写真の貸し出しおよび複写サービス

- ① 所蔵史料写真の貸出及び複写

受付総件数 計 90 件 (林政史研究所直接受付 75 件、愛知県公文書館受付の紙焼き史料複写申請 15 件)

- ② 蓬左文庫受付の二次複写申請

受付総件数 計 9 件 (DVD からの複写 7 件、紙焼き史料の複写 2 件)

(4) レファレンス対応

閲覧来所者及び電話でのレファレンスに対応した。

6. 補助金関係

(1) 科学研究費助成事業 (科学研究費補助金) (特定奨励費)

申請者：(公財)徳川黎明会徳川林政史研究所

研究事業名：近世・近代における持続可能な森林経営に関する調査・研究・普及事業

交付機関：(独)日本学術振興会*

交付金額：10,400,000 円

(2) 特定奨励費以外の科学研究費助成事業

- ① 科学研究費助成事業 (科学研究費補助金)

研究種目：基盤研究(A)

研究課題名：高雄曼荼羅の復元と空海の造形観の研究

交付機関：京都国立博物館 ((独)日本学術振興会)

交付金額：48,060 円 (令和 4 年度繰越金)

研究分担者：徳川美術館 学芸部学芸員 安藤 香織

- ② 科学研究費助成事業 (科学研究費補助金)

研究種目：基盤研究(A)

研究課題名：戦国軍記・合戦図の史科学的研究

交付機関：共立女子大学 ((独)日本学術振興会)

交付金額：100,000 円

研究分担者：徳川美術館 学芸部学芸員 薄田大輔

- ③ 科学研究費助成事業 (科学研究費補助金)

研究種目：基盤研究(B)

研究課題名：地域社会史の視座に立った旧藩社会の統合的研究ー「旧藩地域社会論」をめざしてー

交付機関：中央大学 ((独)日本学術振興会)

交付金額：150,000 円

研究分担者：徳川林政史研究所 所員研究員 藤田 英昭

(3) その他の競争的資金及び民間助成金等

助成金名：公益財団法人上廣倫理財団教育・研究・活動助成金

申請者：徳川林政史研究所 所長 深井雅海

事業名：歴史学研究の発展に貢献できる若手研究者の育成

助成機関：(公財)上廣倫理財団

交付金額：5,500,000 円

7. 事業評価委員会の開催

令和5年3月26日、外部委員による事業評価委員会により、徳川林政史研究所が実施した令和5年度事業について評価・講評を受けた。(新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、紙面評価を継続した)

8. 資産の取得

(1) 什器備品

EOS R6 Mark IIレンズキット 1式

デスクトップパソコン HP Prodesk400SFF G9/CT 1台

(2) 図書

購入 76冊

受贈 403冊

9. 設備管理

(1) 建物・設備の営繕工事等

本部建物 3F 廊下天井電球交換作業 一式

本部建物 3F 書庫内照明交換作業 一式

小荷物専用昇降機保守

10. 活動支援基金

(1) 寄附金受付業務

前年度に引き続き、徳川林政史研究所の実施事業を対象にした募金活動を行った。本年度の実績は、以下のとおりである。

寄附公募期間 令和4年4月1日～令和5年3月31日

寄附結果 270,000 円 (法人 0 件 (0 口)、個人 20 件 (27 口))

(2) 寄附金の使途

史料購入 (前記 2. (5) ①) 前項記載の通り

史料補修 (前記 2. (5) ②) なし

Ⅲ. 収益事業

[収益事業 1] 不動産賃貸事業（本部・総務部）

不動産賃貸

外国人向け住宅の賃貸（全6棟）

[収益事業 2] ミュージアムショップ・宝善亭等の運営事業（徳川美術館）

1. ミュージアムショップの運営

- ・刀剣ファンに人気のとくびぐみグッズ新商品「グレースコレクション」発売（2023年6月）。
- ・マルイ有楽町・マルイ難波にて、期間限定出店（マルイフェス）を実施（2023年7月）。
- ・大河ドラマに関連する家康関連の新商品（Tシャツ、手ぬぐい、珈琲）を制作・販売。
- ・地元食品企業とコラボした新商品の制作・販売（カフェタナカ クッキー缶）。
- ・SNSによる商品告知を積極的に行い、オンラインショップの活用を促進した。

2. 宝善亭・コーヒーラウンジの利用促進

- ・宝善亭ランチメニューにおいて、NHK大河ドラマに合わせた新メニュー「家康御膳」を1年間限定で発売。大河ドラマをきっかけにしたコンテンツとして、昼食付旅行プランとして集客に貢献した。
- ・コーヒーラウンジでは、昨年度に引き続き、展覧会のテーマに合わせたスイーツの開発や、WEBサイトやSNS等での広報・宣伝に努めた。

事業報告の附属明細書

令和 5 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないため、作成していない。